

# 令和元年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

## 令和元年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果112世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価(○成果 ▲課題)			
		コメント:(訪問日)1/22(評価者)学校評価委員6名(1名欠席)	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
I	教育・保育目標について	教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標の設定となっていますか。	○子供達の発育に必要な活動を考えて、目標が設定されていて良い。 ○自然との触れ合い等、園の特色を生かした経営に取り組んでほしい。 ○保育目標を実現する為の具体的働きをしているように見えます。結果、社会や保護者の理想に近づくと感じます。 ○地域の特色を生かして、子供たちが生き生きと生活できる力を身に付けられるような目標が設定されていると思います。 ○土地柄を活用してて良い。	A	
		目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
		目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B 0%	
II	教育・保育に対する指導について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成していますか。	○職員と保護者が協力して指導していることが感じられた。 ○全体的な計画がしっかり立てられているので、計画を随時見直し、取り組んでいってほしい。 ○長い実績を踏まえた環境を活かした保育と乳幼児の成長に合わせた、教育・保育と感じます。 ○子供の成長に合わせて、適切な教具が使用されていると思います。	A	
		環境の構成を意識した教育・保育・指導の方法や過程を常に工夫していますか。		100%	
		教材・教具を適切に活用していますか。		B 0%	
III	行事について	行事の種類や実施回数は適切ですか。	○行事のねらいがしっかりしていて、子供を育てたいという意気込みが伝わってきた。 ○行事の目的を明確にし、職員共通理解のもとに取り組んでいけるようにしてほしい。保護者の方々には、丁寧に説明し協力を得られるようにしてほしい。 ○行事が多いという声もありますが、子供達が色々なことを経験できるのは、とても良いと思います。 ○行事は少ないように感じますが、それぞれの行事のねらいを生かしていると思う。 ▲行事の回数や内容については、無理のない計画で充実した内容を検討しても良いと思います。 ▲園全体の行事、特にクリスマス会は、数年前に比べると見に来る保護者も年々増えてくると思うので、場所を検討しても良いのではと感じます。	A	・教育・保育目標を念頭に、各年齢の発達過程を踏まえた行事等の取り組み状況を精査し、改善に努める。
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。		67%	
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。		B 33%	
IV	体制・学級経営・保健安全指導について	職務内容が明確で、協働できる体制になっていますか。	○校地内の安全に対する配慮が見られた。また、職員にも安全を最優先する姿が見られた。 ○避難訓練で、仁井田小学校への避難を行った際、地域の方々の声掛けや、協力を得ることが出来たと聞きました。とても良い試みと思います。 ○リスクを共有しての保育目標に向かう姿勢が素晴らしいと思います。 ○地域と連携して、防災や保健安全の活動がされていると思います。避難場所である仁井田小学校まで、実際に歩いて行ってみることなど、とても、良い取り組みを実施されていると思います。 ○シフト制のためか送迎時、クラス担当の先生でない先生方も優しく声をかけてくれるので、子供も物怖じ少なく接することが出来ている。色々な先生と緊張しながらも接することも、学習の一つだと思ふ。避難訓練などで少し遠くに行く際は、地域に声掛け、働きかけをして、協力してもらえるのは、地域の特性なのか有難いと思う。	A	体制、安全面等においては、開設時間が長時間にわたる事などを考慮し、児童の心身の健全な育成を主眼におき、保護者との情報共有、共感し合える子育て・親育ちを推進していけるよう取り組んでまいります。また、職員一人一人が法人基本方針に沿って、教育・保育目標の到達に資するよう自主的、能率的に関与していく事が課題であると認識できましたので、職員間での促しや言葉かけを図ってまいります。
		職員の配置は適材・適所ですか。		83%	
		同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実を図っていますか。		B	
		学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じていますか。		17%	
		避難訓練・交通安全指導、計画に基づいて適切に実施されていますか。		C	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っていますか。		0%	

# 令和元年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価報告書

## 令和元年度 あおぞら幼保連携型認定こども園における学校関係者評価結果

○調査対象: 保護者(施設アンケート結果112世帯)、保育・給食・保健部門職員(自己評価結果46名事務・用務・短時間職員を含む)

上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、学校関係者評価委員6名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・一部検討を要する C・・・改善を要する】

V	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。	<p>○子供が使いやすいように工夫されていた。 ○現状の施設の中で、良く工夫し、できるだけ良い環境作りを考えているように見えます。 ○病欠の情報や、当日の給食のメニュー等、子供との話題にもなるような掲示がされおり、とても良いと思います。 ▲園庭遊具の種類も少なく老朽化も気になる。砂場で遊ぶままと用のものが、もう少し楽しく整理できるような設備があれば嬉しい。 ▲クラスごとの掲示は見やすく配置されていると思います。クラス閉鎖などの情報は、少しでも早く伝わるように、一斉メールなども活用されてはどうかと思う。 ▲個人情報の取り扱いについては、全職員共通理解のもと、十分留意して取り組んでほしい。</p>	A	<p>・園庭整備に向けた取り組みを継続し、子供たちがわくわく楽しめる環境作りに努める。 ・個人情報の取り扱いについては、法人全体の会議の場においても確認し、再発防止に努める。 ・保護者の方々へは、直接対話(連絡・報告)で確認することで、安心につながると考えていますが、社会的変化も踏まえ、今後様々な方法を検討してまいります。</p>
		67%			
	遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		B	33%	
	掲示版、掲示場所等を適切かつ効果的に活用していますか。		C	0%	
VI	家庭・地域社会との連携について	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。	<p>○自然や施設、人材を積極的に活用していた。 ○仁井田小学校との交流、マルダイ通のダリアの栽培等、継続して行ってほしい。 ○地域との交流を積極的に行っていると思います。 ○核家族が進む中、高齢者と触れ合う機会があって、良いと思う。 ○いろいろな意見に対してきちんと向き合い改善されていることが伝わってきました。これからも、子供たちがのびのびと楽しく過ごせる場を、継続してください。 ○地域社会と交流できるような行事が多数実施されていると思います。</p>	A	
		100%			
	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れていますか。		B	0%	
			C	0%	

令和元年度学校関係者評価に向け、職員による自己評価項目及び保護者の皆様方による評価項目、そして評価委員による評価項目を検討し取り組みました。いただきましたご意見を総合的に考慮し、これまで以上に子供の福祉と教育・保育の質の向上を図れるよう環境を整え、大きく前進できるように努めてまいります。  
お忙しい中ご協力いただきましてありがとうございました。

園長 上村 清吾

